

ようじえんだより 2023年度12月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

12月主題『喜び合う』

主題聖句：ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。 イザヤ書9章5節

☆ 0歳児：保育者や友だちと一緒にクリスマスを感じ、絵本やさんびかを楽しむ。思いを言葉にしてもらうことで、安心して満たされる。外気にも触れながら、冬の訪れを感じる。(保育者は)室温や換気、加湿の配慮、適度な水分補給をしながら快適に過ごせるようにしていく。

☆ 1～2歳児：保育者や友だちと一緒にクリスマス喜び、お話やさんびかを楽しんで受け取る。保育者や友だちと喜びを言葉や身体で表現する。風や空気の冷たさ、日の入りの早さなどを感じ、冬の訪れを感じる。(保育者は)こどもが感じたことを表現する楽しさを味わえるように支える。

☆ 3歳児：イエス様が私たちのためにお生まれになったことを知る。遊びを通して、友だちと心をつなげる経験をする。寒さの中でも身体を動かすことを喜ぶ。(保育者は)クリスマスの本当の意味を知り、子どもたちと共に喜ぶ。

☆ 4～5歳児：イエス様がお生まれになったことを喜び合う生活をする。日常生活の中でクリスマスの喜びを表現すること、分かち合うことを経験する。鬼ごっこやルールのあるゲーム遊びなどを楽しむ。(保育者は)クリスマスの喜びの中、世界の国々に目を留め関心を深めながら、私たちの過ごし方やできることを考える。

乳幼児期の子育てにおいて大人が気をつけること⑧～子どもを“善く”観る～

12月は発表会の時期です。十日町幼稚園でも「クリスマス祝会」があり、特に3歳以上児は「ページェント(降誕劇)」をみんなで作り上げて発表します。保護者の方は自分の子どもがうまくセリフを言えるだろうか、と心配になることでしょう(私もそのお気持ちはよくわかります)。でもそれだけではない視点でも観ていただきたいのです。

私が十日町幼稚園にやってきて一番感心したことは「子どもたちの日々の姿と本番の姿がほぼ一緒」ということです。もちろん緊張

はしますが、普段通りの姿があるということは、お家でも園でも自分らしく過ごしている証です。そこを認識しつつ、お子さんが緊張していたなら「場の空気を読める子なんだな」とか、セリフに躓いたとしても言い直すことができたなら「自分で気持ちを立て直すことができるようになったのだな」というようにお子さんを“善く”観ていただきたいのです。人は誰でも欠点はすぐに見つけることができます。しかしそれだけでは評価される方もする方も辛くなってしまいます。相手を“善く”観ることは前向きに幸せに生きる上で大切だと思います。 園長 久保田愛策

年間主題『ともにつむぎだす～希望の中で～』

主題聖句：キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。

新約聖書 エフェソの信徒への手紙2章17節